

分担金・拠出金の名称	赤十字国際委員会拠出金	評価	B
拠出先の国際機関名	赤十字国際委員会(ICRC)		
国際機関の概要	<ul style="list-style-type: none"> 赤十字国際委員会(ICRC)は、紛争時に犠牲者等を保護するために中立的な立場で介入することを国際法で認められている国際的な機関。戦時救護を目的として1863年に設立(ノーベル賞を3度以上受賞した世界唯一の機関であり、最も歴史の長い人道機関)。 ICRCは、紛争犠牲者の保護を中心として、医療支援、食糧・生活物資等の支給、飲料水供給、衛生活動等の「緊急人道支援」を実施。 我が国や他の国際機関が安全・能力上の制約から支援不可能な状況・場所で、時に「唯一の援助機関」として活動。 		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標	達成状況		
<p>1. (1) 成果目標:ICRCを通じ、人道支援等我が国重要外交課題を遂行し、我が国実施事業との相互補完性を高める。</p> <p>活動指標:ICRCの我が国重要外交政策課題への貢献、ICRCの人道活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国はICRCを通じて、重要な外交政策の柱の一つである人間の安全保障確保のための人道支援を毎年積極的に実施。ICRCは、他の支援機関が治安状況の深刻化に伴い撤退を余儀なくされる地域においても、中立原則を厳格に堅持する形で、安全確保を図りつつ活動を継続するなど人道主義を体現する機関。 「女性が輝く社会づくり」の関連では、昨年(2022)の国連総会での安倍総理の言及(日本は、紛争下での性的暴力をなくすため、国際社会の先頭に立ってリードしていく)にある「性的暴力防止・被害者支援分野」において、ICRCは各国での紛争下における性的暴力防止の活動を積極的に実施。また、昨年11月、東京において当省と、「紛争下における性的暴力に関する公開シンポジウム」を共催。 		
<p>(2) 成果目標:ICRCの意思決定における我が国のプレゼンスを確保する。</p> <p>活動指標:ICRCトップを含めた幹部の我が国との情報交換・意見交換、ICRCの意思決定プロセスにおける我が国の意向の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> マウラー総裁は2013年及び本年(2023)訪日し総理表敬等を行い(両回ともに天皇皇后両陛下に謁見)、ハイレベルで我が国との緊密な関係を構築。 ICRC全体のプロジェクト実施責任者である事業総局長は毎年訪日し、日本政府の人道支援関係者と幅広く協議を実施。 我が国はICRCドナー会合(毎年)に参加し、我が国の意向を積極的に表明することでプレゼンスを確保。 		
<p>(3) 成果目標:ICRCへの拠出を通じて、人道支援分野における我が国の意見を反映する。また、ICRCが適切な組織・財政マネジメントを行う。</p> <p>活動指標:人道支援分野における我が国の貢献に関する広報、組織としての財政マネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国支援について、ICRCは広報を行い、我が国の人道支援分野での貢献をアピール。 ICRCは、欧米等主要ドナーによる国際機関に関する評価の中で極めて高い評価を得ている機関(評価基準は、英国は「組織の強靱性」、「開発目的への貢献度」、豪州は「結果と妥当性」、「組織的行動」など)。 		
<p>(4) 成果目標:ICRCにおける邦人職員増強を図る。</p> <p>活動指標:ICRCにおける日本人職員数の増加、邦人職員増強に向けたICRCの取組、邦人職員活躍の機会。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 邦人職員は過去5年間で36%増(2010年6名→2015年25名)。駐日事務所(2009年開設)による邦人職員増強努力、ならびに、ICRC本部による職員資格要件の緩和(言語要件を従来の英・仏2言語から1言語へ、非スイス人の積極的採用など)の成果。 主要ドナーの我が国との関係に配慮し、本部資金調達課長に邦人職員を活用。 		
2. PDCAサイクルの確保	<p>ICRCにおいては、以下の形でPDCAサイクルを確保している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①計画段階(Plan):プロジェクト・プロポーザルの審査、我が国の政策も踏まえ必要に応じ優先配分の決定 ②実施段階(Do):案件実施、モニタリング(ICRC本部を通じた報告) ③評価段階(Check):最終報告書により、該当案件の成果実績等を踏まえ外務省がICRC本部から確認・評価 ④フォローアップ段階(Act):政府代表部とICRC本部の間での意見交換やICRC側幹部訪日等を通じて、問題点の指摘やより効率的な案件選定に向けた検討。 		
担当課・室名	国際協力局 緊急・人道支援課		